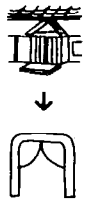
内

二年

画数 4
筆順 一 冂 内
オン ナイ・ダイ
クン うち

成り立ち



家の入り口の形をあらわした字です。ここから「家のうち」に入りますので、〝家のうち〟といういみをあらわしたものです。〝うち〟〝中がわ〟のことです。

〔熟語の多くは呉音でナイと読む。〝宮中〟の意味の〝内裏〟は漢音でダイと読む。〕

使い方

▽「三日の内に、名前をあてないと、お前の目をもらうぞ」と、鬼は大工に言いました（『大工と鬼六』より）。

▽むずかしい問題を出されて、内心こまったな、と思いましたが、なんとか解いてみようと、がんばりました。

▽内部の組織を切りとって、顕微鏡で観察します。

▽この話の内容を説明してください。

▽この件は内密の話ですから、ほかの人には言わないでください。

▽これは国内の問題だから、外国の人がかれこれ言うべきではありません。

熟語例

▽内心（心の内。心の中）
▽内部（内側。中の部分）
▽内容（中身。中にあることがら）
▽内密（内部だけの秘密にしておくこと。）
▽国内（国の内）
▽内裏（宮中。天皇のおすまいになる所）

南

二年

画数 9
筆順 一 十 冂 冂 冂 南
オン ナン・ナ
クン みなみ

成り立ち

くさのかたちをあらわした〝十（屮）〟と、おんしつのかたちをあらわした〝冂〟と、ナンの音をあらわした〝羊〟とをくみあわせた字です。ナンは〝暖（漢音はダン）〟で〝暖かい〟いみがあります。

あたたかいおんしつで、くさ木がいきおいよくのびることをあらわした字です。それで、「あたたかくてくさ木がよくそだつほうがく」の〝みなみ〟のいみにつかわれるようになりました。

〔説文では〝朿〟との形声字とある。〝朿〟は、草木の繁茂することを表した字である。〕

使い方

▽南方からふいてくる風のことを南風といいます。あたたかい風です。

▽南進することを南下するといいます。そのわけは、ちずでは南が下になっているからです。

熟語例

▽南風（南の方からふいてくる風。）
▽南方（南の方。南の方がく）
▽南進（南にむかって進むこと。）
▽南下（南にむかって進むこと。）
▽南欧（欧は欧州でヨーロッパのこと。南ヨーロッパということで、スペイン、ポルトガル、イタリアなどのくにぐにのことをいいます。）
▽南極（極は極地のいみで、地球の〝南のはて〟）
▽南国（南の方にある国。あたたかい国です。）
▽南洋（洋は〝ひろい海〟。南方の海。また、南方の太平洋にある島々のいみにもつかいます。）
▽指南（「南を指さす」といういみのことば。むかし中国で指南車がつくられ、これが方がくをおしえてくれたことから、〝おしえる〟いみになりました。）